

古文書をひもとき再現した
戦国益田氏の祝い膳とお酒
歴史や伝承から紡ぎ出し創られる芸能
四五〇年の時を越え
いまここによりみがえる戦国の宴

Museum×Theater: ミュージアvol.3
企画展「石見の戦国武将展」関連プログラム

よみがえる 戦国の宴

2017.10.14 [SAT]

グラントワ 大ホールホワイエ

第1部:「戦国益田の祝い膳」を味わう / 17時15分開場、17時30分開宴

第2部: 舞台公演「海山のあいだ～石見益田氏の祈り」 / 18時15分開場、18時30分開演

料金: [海之席] 3,500円 40席(畳席30・テーブル席10) / 第1部・第2部通し券(「祝い膳」料理付) [山之席] 2,000円 第2部舞台公演のみ(飲物付)

*9月9日よりグラントワ総合受付カウンターにてチケット発売 *車を運転される方にはお酒の提供はいたしません。

出演: 古事交奏プロジェクトfeat. 志人 志人(語り) / チェ・ジェ Chol(チャンゴ) / 塩高和之(琵琶) / 小泉なおみ(篠笛、能管)
鈴木広志(サクソ、バスクラリネット) / 大口俊輔(アコーディオン)
喜羽美帆(二十五絃箏) / 福原千鶴(鼓、締太鼓) / 東保光(作、演出、舞)

料理提供: 中世の食再現プロジェクト
主催: アートで楽しむ益田の歴史プロジェクト実行委員会(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場、中世の食再現プロジェクト、益田市、益田市教育委員会)
チケット販売・問合せ: 島根県芸術文化センター「グラントワ」 TEL.0856-31-1860 FAX.0856-31-1884 島根県益田市有明町5-15



永禄11(1568)年、益田の領主、益田藤兼・元祥父子が毛利元就の本拠地である安芸吉田郡山城を訪れ、莫大な贈り物をすると同時に豪華な料理を振る舞ったことが、益田家に伝わる古文書、「益田家文書」に記されています。これによって益田氏は、その実力を毛利氏に鮮明に印象づけたのです。「よみがえる戦国の宴」は、企画展「石見の戦国武将」の開催にあわせ、古文書を元に再現した「祝い膳」を、益田家文書や石見の歴史、伝承を題材に創作した新作パフォーマンスと共に味わう催しです。

古事変奏プロジェクト

古くから伝わる様々な日本文化のコンセプトを現代に全く新しい芸能表現として浮かびあがらせるプロジェクト。元音楽家の東保光が2014年にスタートし、東京で自主公演を開催し活動を続ける。2015年秋に益田市、萬福寺で行われたイベント『十五夜の宴』に出演。



チェ・ジェ Chol
(チャンゴ)

塩高和之
(琵琶)

小泉なおみ
(篠笛、能管)

鈴木広志
(サクソ、バスクラリネット)

大口俊輔
(アコーディオン)

喜羽美帆
(二十五絃箏)

福原千鶴
(鼓、締太鼓)

東保光
(作、演出、舞)

featuring



志人 (降神 / TempleATS) 語り

独自の日本語表現の探求により 一言葉一に秘められた全く新しい可能性を示す 一言葉の職人。音楽表現のみならず舞台芸術、古典芸能の分野でも活躍する表現者。カナダ・モントリオールの芸術家達と制作したアルバム「発酵人間～Zymolytic Human～」にKIDKOALA (CA) やDJ Q-BERT (USA) 等が参加し、世界から注目される。日本free jazz界の重鎮、スガダイローとの七番勝負では壮絶なバトルを繰り広げ、後に合作「詩種」を発表。京都国際舞台芸術祭 2016 では松本雄吉 (維新派・演出) 内橋和久 (音楽・演奏) 『PORTAL』の舞台にて主演を担う。国境を越える芸術家達が集うTempleATSの一員として数多くの作品を発表、表現活動は多岐に渡る。

中世の食再現プロジェクト

「益田家文書」の中にある「祝い膳」の記述を元に、料理の再現や商品化、食のイベントの開催などを行う。益田市内の食品製造業者や「食」の活動に携わる有志により2008年に結成された。2015年度島根県文化奨励賞受賞。2016年には料理の盛りつけや配膳を担当する「おもてなし女子プロジェクト」を発足。益田市内の寺院など歴史ある空間を活用し、益田ならではの文化的な「おもてなし」をプロデュースしている。



『海山のあいだ ～石見益田氏の祈り～』

海道の発達した中世の日本海では、国家の枠に収まらない海商や海賊が活躍し、国内のみならず大陸との交易も大変盛んに行われていました。中世石見の盟主、益田氏の繁栄は海岸の湊の活況と山間部の豊富な資源などにより長く続きましたが、そこには、多くの石見豪族共通の祖先である“御神本”^{みかもと}明神を祀る祖霊の信仰とともに、未来の子孫を案じ、民を思い、忠義を尽くすという、家を基本とした武家社会の理想的な精神性を見いだすことが出来ます。その精神は、今を生きる私達にも、きっと大切な何かを気付かせてくれるでしょう。遠い昔に想いを馳せながら、戦国の世に生きた石見益田氏を讃え、人間社会の祈りについて皆さんと共に考えてみたいと思います。(東保光)

企画展「石見の戦国武将—戦乱と交易の中世—」 9月30日[土]～11月13日[月] / 島根県立石見美術館(グラントワ内)

益田家文書をはじめとする古文書や地域ゆかりの美術工芸品、遺跡からの出土品などにより、石見の戦国武将の盛衰、対外交流と地域文化を紹介。

開館時間: 10:00～18:30(展示室への入場は18:00まで) 休館日: 毎週火曜日

10月14日[土]、15日[日] 秋の夜長を楽しもう。グラントワ中庭をライトアップ!